

10Gbit/1Gbit BaseT アダプタ (2 ポート PCIe2) (ENOW, ENOX)  
ファームウェア

バージョン: 20120310

## 目次

<はじめに>

1. 対象アダプタ
2. サポートされている AIX/VIOS のレベル
3. ファームウェア更新に関する注意
4. ファームウェア更新時間
5. ファームウェアレベルの確認方法
6. ファームウェア更新に使用するファイル
7. ファームウェア更新方法
8. ファームウェアレベルの確認
9. ファームウェアファイルの削除

<はじめに>

本更新手順は 10Gbit/1Gbit BaseT アダプタ (2 ポート PCIe2) のファームウェアを最新レベルに更新するために提供されています。

お客様御自身で最新のファームウェアレベルに更新することを推奨致します。  
ファームウェアファイルおよび更新方法は、下記 Web サイトで入手できます。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/EP8000/machinecode/machinecode.html>

## 1. 対象アダプタ

表 1.1 対象アダプタ

項目	形名	品名
1	THE-7001FCENOW	10Gbit/1Gbit BaseT アダプタ (2 ポート PCIe2)
2	THE-7001FCENOX	10Gbit/1Gbit BaseT アダプタ (2 ポート PCIe2 LP)

## 2. サポートされている AIX/VIOS のレベル

10Gbit/1Gbit BaseT アダプタ (2 ポート PCIe2) をサポートする全てのレベル。

## 3. ファームウェア更新に関する注意

- (1) まれに更新が失敗する場合がありますが、2, 3 回更新を繰り返してください。

- (2) お客様の業務が停止していることを確認し、ファームウェアの更新を行なって下さい。
- (3) ファームウェア更新中にシステム装置の電源を off しないで下さい。
- (4) AIX の場合は root ユーザで、VIOS (Virtual IO server) の場合は、padmin ユーザで作業を行なって下さい。

---

#### 4. ファームウェア更新時間

約 5 分/アダプタ

---

#### 5. ファームウェアレベルの確認方法

- (1) パーティションが VIOS の場合は、oem\_setup\_env を入力し、制限シェルを抜けます。パーティションが AIX の場合は、本操作は不要です。

```
$ oem_setup_env  
#
```

制限シェルを抜けると、コマンドプロンプトが”#”になります。

- (2) lsmcode コマンドで、すべての Ethernet アダプタ (デバイス番号が entX) のファームウェアレベルを表示します。

```
# lsmcode△-A△|grep△ent  
ent0!e414571614102004.10240180  
ent1!e414571614102004.10240180  
ent2!e414571614102004.10240180  
ent3!e414571614102004.10240180  
ent4!e4148e1614109204.20120150  
ent5!e4148e1614109204.20120150  
ent6!e4148e1614109204.20120310  
ent7!e4148e1614109204.20120310
```

- (3) (1) で表示されたデバイスのうち、!と. に囲まれた文字列が e4148e1614109204 のデバイスが本手順書の対象です。また、. の後ろの 8 桁の数値がファームウェアレベルを示しています。ファームウェアレベルが最新 (20120310) の場合は、更新不要です。上記のケースでは、ent4, ent5 が更新対象となります。

---

#### 6. ファームウェア更新に使用するファイル

- (1) 更新ファイル e4148e1614109204.20120310.bin を以下サイトより入手してください。

<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/EP8000/machinecode/machinecode.html>

- (2) 更新ファイルを対象 LPAR の/etc/microcode/へコピーします。その際、ファイル名を e4148e1614109204.20120310 に変更してください (拡張子.bin を削除します)。
- (3) 下記コマンドでファームウェアファイルの sum を確認します。sum の値が 39331 以外の場合は、ファームウェアの更新を中止してください。

```
# sum△/etc/microcode/e4148e1614109204.20120310
39331 2048 /etc/microcode/e4148e1614109204.20120310
```

---

## 7. ファームウェア更新方法

ファームウェア更新方法について記述します。

(1) コマンドライン上で下記コマンドを入力します。

10Gbit/1Gbit BaseT アダプタ(2 ポート PCIe2)は、1枚当たり2つのデバイス番号が割り当てられます(例: ent4, ent5) どちらか1つのファームウェアを更新すると、他のデバイスにも更新が反映されます。

```
# diag△-cd△ent4△-T"download△-f"
```

```
** NOTICE *** NOTICE **
```

```
This device contains multiple resources that
share a common microcode image.
```

```
The common resources presently found are:
ent4, ent5
```

<中略>

```
If any drives are attached to this device,
make sure that a current backup is
available.
```

```
Installation of the microcode has completed successfully
on the following instances of the device:
ent4, ent5
```

```
The current microcode level is 20120310.
```

ファームウェア更新が成功すると、左記のメッセージが表示され、20120310 に更新されたことを示す

```
Please run diagnostics on these resources to
ensure that the device is functioning properly
```

ファームウェアの更新時間は約2分です。更新が完了すると、上記のメッセージを表示します。更新対象のアダプタが複数枚存在する場合は、すべてのアダプタのデバイスに対して(1)を実施します。

ファームウェアの更新が失敗し、上記以外のメッセージが表示された場合は、(1)を再度実施してください。

---

## 8. ファームウェアレベルの確認

“5. ファームウェア・レベルの確認方法”を参照願います。  
ファームウェア更新後に AIX/VIOS をリブートする必要はありません。

---

## 9. ファームウェアファイルの削除

- (1) ファームウェアファイル/etc/microcode/e4148e1614109204.20120310 を rm コマンドで削除します。
- (2) パーティションが VIOS の場合は、[Ctrl]+[d]キーを入力し、制限シェルに戻ります。パーティションが AIX の場合は、本操作は不要です。

---

株式会社 日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部 2020年7月

---

(c) Hitachi, Ltd. 2020 All rights reserved.